

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第2790地区
木更津東ロータリークラブ

2021-22年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2021-22年度国際ロータリーテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために SRVE TO CHANGE LIVES

第28回例会 NO.2549 2022年2月20日

【太田山の河津桜】



◆点鐘 10時30分
渡邊 慎司会長

◆Rソング斉唱
「手に手つないで」

◆出席 会員42名 ◆出席率 50.00%
出席25名 ◆前々回出席率 75.67%
欠席17名 ◆修正後出席率 78.37%

◆欠席者【敬称略】

石井文子・大里光夫・加藤智生・叶川博章・
小林千晃・小林裕治・阪中昌司・嶋津正和・
鈴木秀幸・田口理紗・趙 亜南・中野麻美・
林田謙治・藤野宏治・松岡邦佳・宮寺順子・
渡邊元貴

◆メイクアップ

- ・2/4 RLI第3回リハーサル 山田修平
- ・2/5 RLIパートI
山田修平・堀内正人・渡邊慎司・石田 亨・
松岡邦佳
- ・2/7 RLI委員会 山田修平
- ・2/14 RLI第1回DL
セッションミーティング 山田修平
- ・2/18 21-22年度地区ロータリー財団統括委員会
堀内正人
- ・2/19 22-23年度AG/地区委員会会議
堀内正人
松岡邦佳
- ・2/20 2590地区RLI
- ・2/22 2022-23第3回被選理事会
大里光夫・近藤直弘・堀内正人・石田 亨・
松岡邦佳・加藤智生・藤野宏治・宮寺順子・
林孝二郎・渡邊慎司

■司会進行
渡部和夫SAA

◆四つのテスト
板谷優作会員



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 慎 司
幹 事 吉 田 和 義
編 集 大 岩 も え

国際ロータリー第2790地区

RI会 長 シェカール・メータ
地区ガバナー 梶 原 等
ガバナー補佐 鈴 木 荘 一



皆さんこんにちは、本来ならば太田山での清掃活動でしたが、金曜日の時点において雨の予報であったのと、雨上がりでは足元がぬかるんでいる可能性もあり、早めに中止及び東洋さんでの例会に変更させて頂きました。

私も職業柄普段より天候に悩まされることが多いですが、大事を取るという事もとても重要だと感じています。普段は工期などが無いと無理やり施工する場面もありますが、工事は作業員の集中力も低下して事故が起こりやすい状況もあり、朝雨が降っていなくても工事を中止することも多々ありました。

今回の清掃活動も、雨は止んでも足元が悪かったり、立木から雫が落ちてきたりと普段通りにいかないだろうと考え、早めに変更する運びとなりました。

植樹した桜の成長を皆さんに見て頂きたかったのですが、この後太田山へ寄ってから帰って頂いても良いかもしれません。植樹した一部の桜はもう葉も付けている物もあります。まだ植樹して間もないので、周りの木よりも小さいので外からは全く見えませんが、10年後、20年後には大きく育っている事と思います。

当日の変更ではなかったのですが、担当委員会としては例会の内容について若干検討する時間が出来たとは思いますが、林社会奉仕委員長に今年の大河ドラマで取り上げられている、源頼朝が安房から房総を北上していく歴史の一部について話をさせて頂きます。

急な例会変更においてもこの様に出席してただける会員の皆さんに御礼を申し上げたいと思います。次の例会は3月2日となり、残り3分の1となります。今後は次年度に向けての会議が多くなっていきますが、大里会長エレクトとよく打合せをして引継を進めたいと思います。



1. 幹事報告

1) 2021-22 年度ガバナー事務所より「君津 RC 創立 50 周年式典並びに祝賀会のご案内」が届いておりますので回覧いたします。

2. 他クラブからのお知らせ

1) 袖ヶ浦 RC、木更津 RC より「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。

3. その他のお知らせ

1) 一般社団法人ロータリーの友事務所より「ロータリーの友」購読料改定のお知らせが届いておりますので回覧いたします。

4. 回覧

- ・ 2021-22 年度ガバナー事務所より「君津 RC 創立 50 周年式典並びに祝賀会のご案内」
- ・ 袖ヶ浦 RC、木更津 RC より「例会変更のお知らせ」
- ・ 一般社団法人ロータリーの友事務所より「ロータリーの友」購読料改定のお知らせ

■委員会報告

◆ニコニコボックス報告・出席報告

親睦出席委員会 近藤直弘会員



◇倉島和弘会員

本日はあいにくの雨で、太田山清掃は中止になりましたが、おそらくこのような形の例会は初めてかもしれません。よろしくお願ひします。

◇林孝二郎会員

今日は雨天で太田山、残念でした。急に私が卓話することになりましたので、よろしくお願ひします。これから太田山の河津桜も咲くと思います。天気の良い日は是非見に行ってください。

■例会アワー

◆卓話者 社会奉仕プロジェクト委員会
林孝二郎委員長



「千葉での源頼朝の足跡」

今日は残念ながら悪天候のため、太田山公園の清掃活動を取りやめ、会場を室内に変更して開催いたしました。卓話も急遽、私が担当することになりましたのでよろしくお願いいたします。

まず報告ですが、平成20年にクラブ創設40周年と坂出東ロータリークラブとの姉妹締結20周年を記念し、同公園内自由広場に河津桜苗木5本の植栽と記念碑2本の設置の許可を木更津市よりいただいております。今回、許可の期間満了のため設置許可更新の手続きをしております。また、当クラブではここ3年にわたり太田山公園の入り口園路沿いに河津桜を毎年5本ずつ植えてきました。今年は開花が遅れており、現在はちらほらと咲いている状況です。自由広場の河津桜は生育が進まず枯れている状況ですので、来年度以降の植樹の際に植え替えを考慮していただきたいと思っております。

さて、わがクラブと縁の深い太田山公園ですが、昨年11月に発行された「木更津市史編さんだより（木更津市教育委員会発行）」に公園下に見られるコンクリートのトンネルについての興味深い記事が載っておりました。記事によるとこの地下壕は太平洋戦争末期に本土決戦に備え、海軍第三航空艦隊の司令部と付属する通信科が移転した軍事施設ということでした。戦後は戦災者や引揚者の生活の場や周辺住民の生活道路としても使われていた時期があったようです。興味のある方は記事をご覧ください。

話は変わりますが現在、NHK テレビで大河ドラマ「鎌倉殿と13人」が放映中です。前回から千葉県に舞台が移ってきておりますが、この木更津周辺にも頼朝由来の地名が数多く残されております。頼朝の経路略図を見ると、1180年8月末に石橋山の戦いに敗れた頼朝軍が房総半島に渡ってきて、10月2日に江戸川、墨田川を渡り武蔵の国に進軍する間、千葉県内で勢力を拡大し、その後、あっという間に鎌倉入りをしております。900年ほど前のことなので歴史資料は少なく、鎌倉幕府の公式文書である吾妻鏡と各地に残る伝説によらざるを得ないため詳しいところはわかりませんが、陸路よりも海路の交通が発達していた当時において、三浦半島を拠点とする三浦氏は房総半島にも勢力を

拡大しており、頼朝たちの安房への脱出は自然の成り行きだったと思います。しかしながらここから房総半島を北上する経路上には大きな困難がありました。まだ平氏の力を恐れ源氏に味方する武将の数は少なかったようで、安房から上総に向かう際は300騎だったといわれています。当時、房総半島の2大勢力は一宮市に居城のあった上総広常と千葉市に居城のあった千葉常胤であり、ドラマでも描かれておりますが、2人の支援の可否が頼朝成功のカギを握っていたことは確かであろうと思っております。千葉氏はいち早く応援を受け入れ上総氏は躊躇し遅れて頼朝軍に合流するという結果ではありましたが、これにより頼朝軍は北上に連れて勢力を拡大していきます。その足跡が現在でも各地の地名に残されています。富津と君津の境の300騎坂、君津と木更津の境にある千騎坂、袖ヶ浦と市原の境にある万騎坂という具合です。

最初に触れたように、木更津周辺には頼朝伝説が数多く残されております。畑沢（旗竿）、畳ヶ池のような海側と千騎坂、草敷のような山側のそれぞれにある理由は、まだ敵の多かったこの近辺では二手に分かれて進軍したのではないかとの研究者の指摘があります。私も市博物館の学芸員に教えてもらい、アカデミアパークの近くにある千騎坂を一度探索したことがあります。当クラブが毎年行っているハイキング野外例会のコースに組み込めないかと思っておりますが、残念ながら現在は道がないうえ枯葉に覆われた山肌は歩きにくいこと甚だしく、また周辺に放置されたごみが多く見られたため断念した次第です。

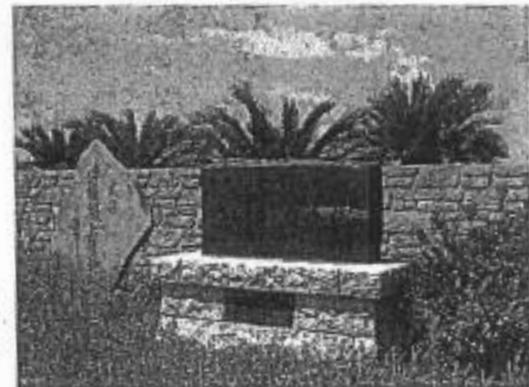
今後のドラマの進行はわかりませんが、鎌倉幕府樹立後、功績のあった千葉氏は頼朝の重臣として使え、一族は千葉県内はもとより日本の各地に所領を拝領しております。千葉市開府890年の平成28年には千葉氏に縁のある千葉、岩手、宮城、福島、岐阜、佐賀県内の首長さんが集まり千葉氏サミットをスタートさせております。一方で遅参した上総広常の方は3年後に謀反を企てたとして暗殺されるという悲劇に見舞われております。

千葉県はNHKの大河ドラマの舞台になっていない数少ない県の一つということで県内に誘致の動きがあると聞いており、誘致できれば観光振興などに大いに役立つと思っております。今回はその一部が千葉県にかかわるものですが、千葉氏や上総氏が取り上げられた折角の機会ですので「頼朝 鎌倉への道を尋ねて」のような観光プロジェクトなどを考えて地域をPRするのも面白いと思っております。ロータリークラブ第5グループは富津から袖ヶ浦まで関係する地区も多く抱えているので協力して地域振興に一役買うこともできるのではないのでしょうか。

最後になりますが、そろそろ春の兆しが見え始めました。太田山の河津桜も満開の時期を迎えると思っております。忙しいとは思いますが、是非、太田山に花を愛でにお出かけください。

ありがとうございました

頼朝の経路略図



20年の伊豆での流人生活を経て、源頼朝は治承4年(1180)8月、挙兵します。従うのは伊豆、相模の少数の豪族だけでした。案の定、石橋山で、相模、武蔵の豪族を大動員した平家方の大庭景親軍に惨敗します。これにはいくつか頼朝軍に誤算がありました。ひとつは、頼朝とした三浦半島の三浦氏が嵐で参着が遅れたこと。そして東国の豪族たちが、いまだ平家全盛の世をおもんばかり、源氏恩顧でありながら味方をためらい平家方についたことが挙げられます。しかしこれは、流れによっては誰かが強く右と言え、どつと右に流れ、勢力は逆転するということを、頼朝は知っていたでしょう。

かろうじて命を永らえた頼朝は、真鶴から海路脱出、房総半島の安房を目指しました。なぜ房総なのか。実は三浦氏はこの頃、対岸の内房沿岸まで勢力下に治めていました。つまり鋸南町周辺は三浦の息のかかる安全圏だったのです。先発の北条氏や衣笠城を追われた三浦氏らが、猿島(鋸南町電島)で頼朝を待つことが出来たのも、あらかじめ次の一手として落ち合う場所を示しあわせていたとしか考えられません。房総では、安房の安西氏や丸氏のように父義朝より続く源氏ゆかりの豪族が多く、下総の千葉氏もすでに参陣の意を表していました。なかでも頼朝が最も頼りと思ったのは、上総氏で、当時房総のみならず東国一の大勢力を抱えていたのです。

頼朝は、乾坤一擲の賭けとして、房総での再起を選んだのです。

◆点鐘 11時30分 渡邊慎司会長